

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和6年3月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見8	51	（ＡＰ１－１）有効なＢＣＰの策定（３Ｅの視点） ①各区は、具体的な想定被害を踏まえた上で参集予測を行われたい。	令和5年度初旬に危機管理室が開催する予定のＢＣＰ2.0版にかかる説明会の内容を踏まえ具体的に策定していく。	見解	—
意見9	52	（ＡＰ１－１）有効なＢＣＰの策定（３Ｅの視点） 各区は、ＢＣＰの業務詳細一覧における必要職員数と、参集予測によって参集が見込まれる人数を対照した上で、現実的なＢＣＰを検討されたい。	令和5年度初旬に危機管理室が開催する予定のＢＣＰ2.0版にかかる説明会の内容を踏まえ現実的なBCPを策定していく。	見解	—
意見11	54	（ＡＰ３）要配慮者たる職員への配慮（多様性・要配慮者への合理的配慮の視点） 各所属は、災害発生時に障がい者をはじめとする要配慮者たる職員それぞれに対して必要となる配慮について検討の上、意識共有及び対応能力向上のため、訓練に組み込むべきである。	要配慮者たる職員については、各班の庶務班に配置するなどの合理的配慮を行っているが、監査意見を踏まえ、今後、要配慮者たる職員本人から配慮に関する意見を聴取するなどし、対応を検討していく。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和４年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer. 2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和６年３月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見15	60	（ＡＰ４）三師会との連携強化（３Ｅの視点） ①各区は、災害時の医療体制について、協定締結団体との間で、医療活動体制の具体化に向けた協議、合意形成を行われたい。	３師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）との覚書に基づき、定期的な会議や無線訓練を引き続き実施していくとともに、３師会と課題抽出および協定必要事項の整理を図り、協定締結など医療救護体制の具体化に努める。	見解	—
意見17	63	（ＡＰ７－１）個別施策シートの目標値、実績値の記載方法（ＰＤＣＡの視点） 各区は、個別施策シートの福祉避難所の確保及び充実の目標値について、必要となる福祉避難所の収容人数をベースにした数値目標を定めた上で、進捗評価をされたい。	関係先と連携の上、必要となる福祉避難所の収容人数をベースにした数値目標を検討する。	見解	—
意見18	65	（ＡＰ７－１）福祉避難所の充足率の公表（市民への情報伝達の視点） ①策定チーム及び各区は、福祉避難所の充足率を把握されたい。 ②策定チーム及び各区は、福祉避難施設数が大幅に不足していることを市民に告知した上で、要配慮者についても一般の避難所内での避難又は自宅避難の必要性があることを事前に告知されたい。	①充足率の考え方や必要となる数値について関係先と連携の上、算定手法を検討する。 ②要配慮者に対して事前準備の啓発や災害時に受けられる支援などについて周知に努める。 なお、収容人数については、福祉避難所の一覧表が危機管理室から公表されているため、関係部署と公表手法を検討する。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer. 2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和6年3月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見19	66	（ＡＰ７－１）福祉避難所開設・運営訓練の実施（ＰＤＣＡの視点） ①各区は、福祉避難所開設・運営訓練を定期的に実施するよう取り組まれない。	個別施策シートの目標に訓練実施を既に掲げており、福祉避難所となりうる関係先と連携した訓練の定期的な実施の継続に取り組む。	見解	—
意見23	74	（ＡＰ９－３）地区防災計画の利便性（市民への情報伝達の視点） ①各区は、地区防災計画について、市民の見やすさ、利用しやすさを踏まえて作成されたい。	利用・保管しやすい形式で作成されているが、作成主体となる地域住民の意向を踏まえつつ、引き続き改訂を支援する。	見解	—
意見24	74	（ＡＰ９－３）地区防災計画の内容（市民への情報伝達の視点） ①各区は、地区防災計画の内容について、災害時に必要かつ十分な情報が掲載されているかを精査し、改訂されたい。	他区の事例も参考にし、災害時に必要かつ十分な情報が掲載されているかを精査して、助言を行うなど、引き続き改訂を支援する。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和6年3月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見27	78	（ＡＰ10－３）個別避難計画の策定（合規性の視点） ①各区は、個別避難計画の策定についてスケジュールを定めた上で、概ね令和8年度までに確実に個別避難計画が策定されるように進捗管理をされたい。	策定したスケジュールに沿って、令和8年度までに16地域において優先世帯の個別避難計画が策定されるよう支援を行い進捗管理に努める。	見解	—
意見29	82	避難施設の整備・拡充に関する周知（市民に対する情報伝達の視点） ②建設局及び各区は、避難施設の整備・拡充の進捗状況について、適切に市民等へ周知を行われたい。	整備拡充された避難施設については速やかに防災講座やホームページ掲載等において周知するとともに防災訓練におけるアンケートなどにより理解度の把握に努める。	見解	—
意見30	83	（ＡＰ12－１）津波避難施設の確保に向けた目標の設定（ＰＤＣＡの視点） 該当区は、地域毎の避難計画を踏まえた津波避難施設の確保について、具体的な数値目標を設定し、個別施策シートに記載して進捗管理を行うべきである。	個別施策シートの目標には具体的な数値目標を掲げており、関係先と連携の上、必要に応じて目標の再検討を行う。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和6年3月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見34	88	（ＡＰ14－２）防災訓練の充実（ＰＤＣＡの視点） ①各区は、社会福祉協議会と連携した防災訓練において、ボランティアニーズとのマッチングを含めた訓練を実施されたい。	毎年、区と連携して社会福祉協議会においてボランティアセンターの開設・運営訓練を実施しており、引き続き連携した取組を実施していく。	見解	—
意見56	133	（ＡＰ27－１）他団体との連携強化（政策の統合・調整の視点） 各区は、経済戦略局及び公益財団法人大阪国際交流センターと連携し、外国語通訳の確保に関し、各区間で重複が生じないようにするため、多様な団体との連携をされたい。	関係部局と連携し、災害時に言語の障害が生じないような対策を検討する。	見解	—
意見59	136	（ＡＰ28－１）進捗管理指標の改善（ＰＤＣＡの視点） ①各区は、進捗管理指標と目標値の設定を再検討されたい。	個別施策シートの目標には具体的な数値目標を掲げており、関係先と連携の上、必要に応じて目標の再検討を行う。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer. 2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和6年3月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
指摘2	171	適切な個別施策シートの確認と助言 ①各区は適切な個別施策シートの作成を行い、進捗指標及び進捗管理に取り組まれない。	「7-2：福祉避難所開設運営マニュアルに基づく訓練の支援」および「24-3：水防事務組合が実施する鉄扉閉鎖訓練への参加」について、コロナ禍により実施できていない状況にあった。 令和4年度では7-2および24-3の訓練を行い、進捗評価を実施した。 令和5年度の個別施策シートは、策定チームの助言を踏まえながら作成しており、今後も適切に進捗評価・進捗管理を行う。	措置済	令和5年9月19日
意見77	177	目標値の数値化の徹底 ①全所属は、個別施策の進捗評価について、取組結果や目標値の数値化が可能なものについては可能な限り数値化した目標値を設定されたい。	個別施策シートの目標には可能な限り具体的な数値目標を掲げており、関係先と連携の上、必要に応じて目標の再検討を行う。	見解	—

監査結果に関する措置状況報告書

令和4年度包括外部監査（「大阪市地域防災アクションプランVer.2.0」を中心とする防災に関する事務事業の検証）

所 管 所 属：西成区役所

通知を受けた日：令和6年3月14日

監査結果 No.	頁数	指摘等の概要	措置内容又は措置方針等	措置分類	措置日 (予定日)
意見78	177	A P の個別施策シートの「進捗評価」の利用（P D C A の視点） 全所属は、A P 個別施策シートの「目標に対する進捗評価」がC（60%未満）である施策に関して、次年度以降の対処方法を明確に定められたい。また、策定チーム及び危機管理室は、当該施策に関する全所属に対し、対処を助言することにより、アクションプランにおけるP D C A のサイクルを有効化するように努めるべきである。	A P 4-1、7-3、24-3についてはコロナ禍の影響を受けたものであり、現在は取組を実施しており、次年度以降も継続していく。 A P 7-1については過去に打診した候補施設等との協議を進めていく。 A P 9-3、12-1、24-1については令和4年度は目標を達成しており、次年度以降も継続していく。 A P 24-2については防災訓練時などにチラシ等を活用した啓発を行っていく。 A P 27-1については在住外国人の地域防災訓練への参加が難航しているため、他区の事例および危機管理室の助言を参考に訓練を行う。 A P 46-1についてはコロナ禍対応を中心とした避難所開設・運営訓練を実施したため、他区の事例および危機管理室の助言を参考に臨時相談所の設置訓練を行う。 また、令和5年度中に個別施策シートごとに課題、対応を整理、検討していくとともに、シートにおける「今後の対応方針」の適切な記載に努める。	見解	—